

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：学校健康教育費

事業名【新】県立学校給食衛生管理事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校給食係 電話番号：058-272-1111(内8712)

E-mail：c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 13,024 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	13,024	0	0	0	0	0	0	0	13,024
決定額									.

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

特別支援学校や夜間定時制高校の児童生徒へ提供する給食の形態は違うものの、安全・安心な学校給食の提供が第一である。各学校においては、学校給食衛生管理基準に基づいた調理作業等が実施されている。新型コロナウイルス感染症への対応のため、さらに衛生管理の徹底が必要となっている。

(2) 事業内容

学校給食衛生管理基準に基づいた給食調理業務に係る衛生物品の購入。
学校給食従事者及びそれらと同程度となる作業をする教職員に対して、学校給食衛生管理基準に基づく検査等を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

学校給食の安全な実施は学校設置者に責任があり、県負担が妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	4,538	二次調理も含めた給食調理業務に必要な衛生管理物品の購入
役務費	8,486	検便検査料、ノロウイルス検査料、害虫駆除費、食品検査料
合計	13,024	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン
基本方針3 未来を切り拓くための基礎となる力を育む教育の推進
目標17 健康教育・食育の推進
- ・学校給食法・学校給食衛生管理基準

(2) 国・他県の状況

- ・学校給食法第4条
夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律第3条
特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律第3条

(3) 後年度の財政負担

学校給食法・学校給食衛生管理基準を満たすためには継続した取組みが必要

(4) 事業主体及びその妥当性

・県立特別支援学校及び定時制高等学校において提供される学校給食であるため、設置者である県が支援事業を行うことは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 特別支援学校・夜間定時制高校において、衛生面に配慮した調理作業を行うための整備をする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

衛生管理に関する事業のため、指標の設定に馴染まない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>学校給食を安全に提供するためには、調理作業において衛生管理の徹底が必要であることから必要不可欠である。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>昨年度までの類似事業である学校給食再調理衛生管理費において、学校からの要望であった再調理従事者の検便検査の実施や衛生環境の整備を進めることができた。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>調理員等の人数変動による学校からの要望に基づき、令達して実施することができた。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 学校により提供される給食の内容に違いはあるが、それぞれの学校における学校給食の在り方について、今後も検討し、改善が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 夜間定時制高校、特別支援学校の児童生徒の状況に合わせ、より安全で安心な学校給食を提供するために必要であるため継続した要求をしていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	